

## 2019 年度 1 月 定例観察会報告書

日 時	2019 年 1 月 12 日 10:00~12:20			作 成 1/12
探 鳥 地	甲子園浜			記 録 樋 口
参加人数	在校生 1 年~3 年 13 名	顧 問 1 名 相談役 1 名	総計 15 名	天 候 く も り
観察コース	西宮市甲子園浜自然環境センター3 階観察室 ⇒ 海岸線に下りての観察⇒徒歩による防潮堤に沿って鳴尾川河口までの往復⇒近くの休憩所で鳥合わせ・昼食(解散)			
観察概要	<p>甲子園浜自然環境センターに阪神甲子園からの徒歩組、車組が合流して観察会がスタートしました。センター3階の観察室から各人が海岸の方向を見ると多くの水鳥が、底が見えるような遠浅な海上で群れをつくっていました。観察室には以前撮影された水鳥の写真がたくさん貼られていましたが、実際に双眼鏡で見る鳥と写真の鳥の名前が一致せず、質問が飛び交っていました。</p> <p>この後、防潮堤に出て観察しましたが、意外と近くに水鳥がいて肉眼でも判別が出来るものが多かったです。クラブ員が休憩所からエサを与えると、近くにいたユリカモメが一斉に乱舞、騒然となりました。防潮堤沿いに鳴尾川河口まで遠くの波止場のミサゴ、アオサギを双眼鏡で確認しながら歩きました。河口にも多くの水鳥がおり、砂浜で規則正しく並び休憩している様子も観察出来ました。</p> <p><b>観察できた鳥たち</b>  <b>見 た</b> <b>アオサギ、イソシギ、イソヒヨドリ、オオバン、オナガガモ、カワウ、キジバト、コガモ、コサギ、ジョウビタキ、スズガモ、スズメ、セグロカモメ、セグロセキレイ、ツグミ、トビ、ハクセキレイ、ハシビロガモ、ハシブトカラス、ハシボソカラス、ヒドリガモ、ハシハジロ、マガモ、ミサゴ、ムクドリ、ユリカモメ、オカヨシガモ、カンムリカイツブリ、ウミアイサ、ハシグロカイツブリ、ハウジロガモ、カワラバト</b> 計 32 種 (探鳥確認メモ 秋~冬)</p>			
感 想	センター観察室から見えた水鳥の種類が多さに驚かされました。写真の名前とを一致させることの難しさがありましたが、水鳥の個々の美しさと動きのゆっくりさで楽しく観察が出来ました。顧問、相談役がおられなければ 32 種類もの鳥合わせは出来なかったでしょう。防潮堤に下りると、肉眼でも判別可能な距離に多くの水鳥が見える良い環境が広がり、曇り空でしたが、久しぶりにゆったりとした探鳥会が出来ました。水鳥の特徴を顧問、相談役から伺いながら観察ができたことが、うれしかったです。案内役に徹してくださる先達・先輩たちに感謝、感謝です。			



「パンくず、ちょうだい」と手のひらまで乗ってきたユリカモメ



「今日は美技を披露するチャンスがなかった」とミサゴはしょんぼり